

墨田区東駒形コミュニティ会館の指定管理者の指定について

1 施設の名称

墨田区東駒形コミュニティ会館（墨田区東駒形四丁目14番1号）

2 指定の期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで（5年間）

3 指定管理者とする団体

(1) 名称

東駒形TRC賀川記念館グループ

(2) 所在地

東京都文京区大塚三丁目1番1号

(3) 代表者氏名

株式会社図書館流通センター 代表取締役 谷一 文子

(4) 共同事業体の構成団体

ア 名称 株式会社図書館流通センター

所在地 東京都文京区大塚三丁目1番1号

代表者 代表取締役 谷一 文子

イ 名称 一般財団法人本所賀川記念館

所在地 東京都墨田区東駒形四丁目6番2号

代表者 理事長 加藤 輝勢子

ウ 名称 鹿島建物総合管理株式会社

所在地 東京都中央区銀座六丁目17番1号

代表者 代表取締役社長 山本 和雄

(5) 沿革

ア 株式会社図書館流通センター

昭和54年12月 法人設立

イ 一般財団法人本所賀川記念館

昭和44年6月 法人設立

ウ 鹿島建物総合管理株式会社

昭和60年12月 法人設立

(6) 同種事業の実績（自治体からの受託運営等）

ア 本区での実績

平成28年度～ 墨田区東駒形コミュニティ会館指定管理者（共同事業体）

平成29年度～ 緑図書館・立花図書館・八広図書館指定管理者（代表企業）

イ 他自治体での実績

代表企業において、台東区立中央図書館、江東区立城東図書館等、全国598館の指定管理者、委託、PFI等としての実績を有する。

4 選定経過及び選定理由

(1) 募集内容

ア 募集期間 令和7年7月11日から令和7年8月15日まで

イ 周知方法 区のお知らせ及び区ウェブサイトへの掲載

ウ 申請者数 1者

(2) 選定経過

墨田区指定管理者選定委員会において、主管部検討部会（外部委員を含む。）での審査を経た団体について、申請書類等に基づき、評価項目である①利用者サービスの向上、②効率的・効果的な施設の運営、③事業計画の遂行能力の3項目に関する

審査を行った。

(3) 選定理由

審査の結果、選定団体は、評価項目の評価の合計点が設定した水準を超えたことから、墨田区東駒形コミュニティ会館の設置目的を効果的・効率的に実現することが期待できるため選定した。

5 事業計画の要点

(1) 管理運営の方針

「地域をつなぐ、むすぶ、みんなのコミュニティ会館」のスローガンを掲げ、各機能の専門性を持つ企業・団体が一体的な組織として運営する。

(2) 主な提案内容

ア 利用者サービスの向上に関する提案

① 児童室事業・学童クラブ事業

- ・小学生を対象としたこども会議の開催や館祭り実行委員会の運営等、こどもの意見を取り入れ、事業を実現させる取組を実施する。
- ・中高生自身が主体的に行事の企画や実施を行うサークル活動を実施する。
- ・公園や近隣保育所等に出向く「移動児童館」等のアウトリーチ活動を実施する。
- ・学童クラブ内で実施するイベント等において、上級生が率先して下級生を引っ張っていく場面を設定するなど、こどもの社会性を育む。

② 図書室事業

- ・すみだ郷土文化資料館と連携し、地域への愛着を深めるための講座を実施する。
- ・本のおたのしみ袋や、テーマ別に職員がセレクトした本をパッケージで用意する「BOOKセレクトサービス」等を実施する。

③ コミュニティ事業

- ・本所七不思議を題材としたおばけやしきや落語会等、郷土文化に触れる機会を提供する。

イ 効率的・効果的な施設の運営に関する提案

① 指定管理料（提案額）：164,563,700円

- ② 代表企業のスケールメリットを活かして、人事労務管理・機器のリースや用品購入等、各種調達を効率的に行う。
- ③ 居住比率の高い20代～50代を呼び込むサービスを充実させる。
- ④ 転入者を対象に、施設の利用方法や地域の情報を紹介する「ウェルカムとんこま」を開催する。

ウ 事業計画の遂行能力に関する提案

- ① こども・子育て関連施設あるいは図書館業務において十分な勤務実績のある職員を配置する。
- ② 代表企業による全国の受託館での危機管理事例や対処方法を共有する。
- ③ 学童クラブでは月に一度、利用者も交えた避難訓練を実施する。

審査結果

12名の委員が評価し、その合計点により審査を行った。

評価項目（配点）	得点
	東駒形TRC賀川記念館グループ
1 利用者サービスの向上（48点×12人＝576点）	408点
(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか (6点×12人＝72点)	48点
(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか (28点×12人＝336点)	243点
(a) 児童室事業・地域子育て支援事業等において、乳幼児・小学生・中学生・高校生等の年齢層等のさまざまな利用者に合わせた事業提案となっているか (8点×12人＝96点)	(73点)
(b) 学童クラブの指導計画等が、健全育成の視点から適切なものであるか (8点×12人＝96点)	(68点)
(c) 図書室事業について、事業提案の内容が充実しているか (8点×12人＝96点)	(66点)
(d) コミュニティ事業について、適切な事業提案がなされているか (4点×12人＝48点)	(36点)
(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か (8点×12人＝96点)	67点
(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか (6点×12人＝72点)	50点
2 効率的・効果的な施設の運営（28点×12人＝336点）	225点
(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか (4点×12人＝48点)	34点
(2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか (6点×12人＝72点)	45点
(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか (8点×12人＝96点)	64点
(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか (4点×12人＝48点)	33点
(5) 利用者の増加策や施設稼働率（利用率）向上への取組は効果的か (6点×12人＝72点)	49点
3 事業計画の遂行能力（24点×12人＝288点）	211点
(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか (4点×12人＝48点)	36点
(2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か (8点×12人＝96点)	64点
(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か (4点×12人＝48点)	35点
(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか (2点×12人＝24点)	20点
(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か (2点×12人＝24点)	21点
(6) 同種事業に関する本区での実績の有無、他の自治体での実績の有無 (4点×12人＝48点)	35点
合計（100点×12人＝1200点）	844点

墨田区東駒形コミュニティ会館指定管理者 申請者提案概要

項目	東駒形 TRC 賀川記念館グループ
1 利用者サービスの向上	
(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか	・高齢者を対象とした、デジタル格差解消に向けた講座を実施する。 ・利用者の情報格差が生じないよう、イベントや行事の開催情報等は多様な媒体（ホームページ・SNS・紙媒体等）を活用して情報を発信する。
(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか	
(a) 児童室事業・地域子育て支援事業等において、乳幼児・小学生・中学生・高校生等の年齢層等のさまざまな利用者に合わせた事業提案となっているか	【乳幼児】 ・地域の子育てアドバイザーや民生児童委員等と連携し、子育てに関する不安等の相談ができる「すくすく相談室」を実施する。 ・「乳幼児ひととき預かり」について、実施日を拡大するなど充実を図る。 【小学生】 ・こども会議や館祭り実行委員等、こどもの意見を取り入れ、事業を実現させる取組を実施する。 ・他児童館・コミュニティ会館との交流や近隣の商店や町工場と連携した事業を実施する。 ・自立への不安を抱えた学童クラブ卒室児童に対し、保護者や学校と連携した支援を行う。 【中高生】 ・中高生自身が主体的に行事の企画や実施を行うサークル活動を実施する。 ・スポーツや音楽等同じ趣味を持つ仲間同士の交流ができるよう、サークル立ち上げや練習場所の確保等、場の提供を行う。 ・職場体験の受け入れや、館祭りの実行委員等を通したボランティア活動の機会を提供する。
(b) 学童クラブの指導計画等が、健全育成の視点から適切なものであるか	・こどもごとの発達の特性を理解した上で、個性を尊重した育成を行う。 ・イベント等において、上級生が率先して下級生を引っ張っていく場面を設定するなど、こどもの社会性を育む。 ・保護者会や個人面談等を通して、保護者との関係性を重視した育成を行う。 ・専門機関と連携し、職員が「障害のあるこども」や「特に配慮を必要とするこども」への理解を深めるための研修を実施する。
(c) 図書室事業について、事業提案の内容が充実しているか	・すみだ郷土文化資料館と連携し、地域への愛着を深めるための講座を実施する。 ・全国の受託図書館と連携したレファレンス回答のためのプラットフォームを活用し、レファレンスサービスの充実を図る。 ・利用者に幅広く資料を手にとってもらえるよう、特集コーナーや時事コーナー等を展開する。 ・外国語でのおはなし会の実施や調べる学習コーナーの開設等、児童サービスを充実する。 ・本のおたのしみ袋や、忙しい方向けにテーマ別に職員がセレクトした本をパッケージで用意する「BOOK セレクトサービス」等を実施する。
(d) コミュニティ事業について、適切な事業提案がなされているか	・町会・学童クラブ保護者・ボランティア等と連携した「かっぱ縁日」を継続して実施する。 ・本所七不思議を題材としたおばけやしきや落語会等、郷土文化に触れる機会を提供する。 ・ワークショップの開催や企業と連携した各種講座を実施する。
(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か	【児童室事業】 ・公園や近隣保育所等に出向く「移動児童館」等のアウトリーチ活動を実施する。

項目	東駒形 TRC 賀川記念館グループ
	・こどもの意見聴取の更なる実現のため、「こども会議」を平日だけでなく土日祝日にも実施する。 【図書室事業】 ・出版社と連携した展示や区内の他図書館と連携した展示を行う。 ・書籍除菌機の機器を入れ替え、継続設置する。
(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか	・利用者とのコミュニケーションを通じて意見や要望を把握し、改善に向けた取組を行う。 ・児童室の利用者に対し、年代階層別の利用者アンケートを実施する。 ・図書室の特集展示等の意見聴取にあたり、気軽に意見を発信できるよう、シール投票等を実施する。
2 効率的・効果的な施設の運営	
(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか	「地域をつなぐ、むすぶ、みんなのコミュニティ会館」のスローガンを掲げ、各機能の専門性を持つ企業・団体が一体的な組織として運営する。
(2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか	・スタッフのマルチスキル化により日常業務の効率化を図る。 ・代表企業のスケールメリットを活かして、人事労務管理・機器のリースや用品購入等、各種調達を行う。
(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか	・指定管理料（提案額）：164,563,700円
(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか	・区内企業と連携したイベントを実施する。 ・施設の維持管理や修繕工事については区内企業を優先し、地域に密着した運営を図る。
(5) 利用者の増加策や施設稼働率（利用率）向上への取組は効果的か	・居住比率の高い20代～50代を呼び込むサービスを充実させる。 ・転入者を対象に、施設の利用方法や地域の情報を紹介する「ウェルカムとんこま」を開催する。 ・毎月広報紙（図書室・児童室・乳幼児向け）を作成し、館内掲示やホームページへの公開、近隣地域へ配布等を行う。
3 事業計画の遂行能力	
(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか	【株式会社図書館流通センター】 ・売上 令和5年：10,145,487千円、令和6年：10,054,723千円 ・営業利益 令和5年：2,321,580千円、令和6年：2,031,712千円 ・経常利益 令和5年：2,637,740千円、令和6年：2,265,402千円 ・流動比率 令和5年：188.3%、令和6年：194.3% ・固定長期適合率 令和5年：65.4%、令和6年：63.6% ・自己資本比率 令和5年：66.2%、令和6年：67.5% 【一般財団法人本所賀川記念館】 ・経常収益 令和5年：877,821千円、令和6年：889,915千円 ・経常増減額 令和5年：91,056千円、令和6年：53,920千円 ・一般正味財産増減額 令和5年：72,481千円、令和6年：38,992千円 ・流動比率 令和5年：321.0%、令和6年：379.4% ・固定長期適合率 令和5年：47.1%、令和6年：43.8% ・自己資本比率 令和5年：79.9%、令和6年：82.5% 【鹿島建物総合管理株式会社】 ・売上 令和5年：71,391,985千円、令和6年：76,994,304千円 ・営業利益 令和5年：2,277,480千円、令和6年：2,366,497千円 ・経常利益 令和5年：2,392,246千円、令和6年：2,540,798千円

項目	東駒形 TRC 賀川記念館グループ
	・流動比率 令和 5 年：213.4%、令和 6 年：221.8% ・固定長期適合率 令和 5 年：25.5%、令和 6 年：24.7% ・自己資本比率 令和 5 年：46.0%、令和 6 年：47.5%
(2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か	・統括責任者：1 名 ・児童室・学童クラブ室：22 名（常勤職員 12 名 非常勤職員 10 名） ・図書室：12 名（常勤職員 10 名 非常勤職員 2 名）
(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か	・統括責任者は現任者を継続して配置する。 ・こども・子育て関連施設あるいは図書館業務において十分な勤務実績のある職員を配置する。
(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか	・個人情報保護研修や、個人情報保護に関する内部監査を実施する。 ・情報公開には、墨田区情報公開条例等に基づいて対応し、開かれた施設運営を推進する。
(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か	・代表企業による全国の受託図書館での危機管理事例や対処方法を共有する。 ・危機管理マニュアルの整備や緊急発生時を想定した訓練及び研修を実施する。 ・児童室・学童クラブにおいては、「安全管理・危機管理マニュアル」に基づき、万一を想定した体制を構築する。 ・学童クラブでは月に一度、利用者も交えた避難訓練を実施する。 ・苦情対応フローの活用や再発防止の体制を整え、トラブルの未然防止に努める。
(6) 同種事業に関する本区での実績の有無、他の自治体での実績の有無	・株式会社図書館流通センター（代表企業）：緑図書館・立花図書館・八広図書館の指定管理者等、全国 602 施設の実績 ・一般社団法人本所賀川記念館（構成法人）：東向島児童館の指定管理者等、全国 9 施設の実績 ・鹿島建物総合管理株式会社（構成企業）：江戸東京博物館の業務委託等、全国 70 施設の実績